

NEWS RELEASE

SHOKO CHUKIN BANK



商工中金

2026年3月19日
商工中金

「2026 J-Win ダイバーシティ・アワード」個人賞 リーダー・アワード 受賞について

株式会社商工組合中央金庫（本社：東京都中央区、代表取締役社長：関根 正裕、以下 商工中金）は、ダイバーシティ&インクルージョン(以下 DE&I)の推進企業・個人を表彰する「2026 J-Win ダイバーシティ・アワード」（主催：NPO 法人 J-Win）において、現 DE&I 推進部長の船曳 泰雄が「個人賞 リーダー・アワード」を受賞しましたのでお知らせします。

現 DE&I 推進部長の船曳泰雄は、2022 年より DE&I 推進及び研修部門の長として、商工中金の組織風土変革の取組みを主導してきました。今回の受賞は、VUCA 時代の経営の意思決定に多様性が不可欠であるとの強い信念のもと、スピード感をもって各施策を導入・運営していることや、DE&I 推進の意義や女性活躍推進の必要性について取引先宛に講演会を実施するなど、自社の枠を超えて活動していることなどが評価されました。

商工中金は、2026 年 3 月 6 日に「[長期戦略・変革プラン ～集めて・つなげて・価値を創る 中小企業経済圏～](#)」を公表しました。お客さま・社会への価値提供と商工中金自身の企業価値向上の両立を目指し、組織文化の更なる変革を進めることで、PURPOSE「企業の未来を支えていく。日本を変化につよくする。」を実現してまいります。

また、これまで進めてきた DE&I 推進とキャリアサポートの取組みを基に、今後は経営戦略と連動した人財戦略の策定・実行を一層加速していくため、2026 年 4 月より、「DE&I 推進部」と「キャリアサポート部」を統合し、新たに「人財戦略部」を設置します。

商工中金は、これからも DE&I 推進の取組みを一層加速させ、変化につよい組織づくりを進めることで、お客さまが抱える経営課題をともに解決できるパートナーとして、変化につよい社会の実現に貢献してまいります。



(左) NPO 法人 J-Win 理事長 横尾 敬介 氏
(中央) 商工中金 DE&I 推進部長 船曳 泰雄
(右) 商工中金 DE&I 推進部オフィサー 清水 優花

【参考】

特に評価された商工中金の施策・取組み

① 人財育成

- ・企業内大学「人づくりカレッジ」(※1)の設立

② 女性リーダーの登用・育成・意識改革

- ・「役員メンター制度」(※2)
- ・「ネクストカレッジ」(将来のリーダーに向けた意識改革プログラム)(※3)
- ・「営窓キャリアプログラム制度」(自己変革に取り組むリスクリング施策)(※4)

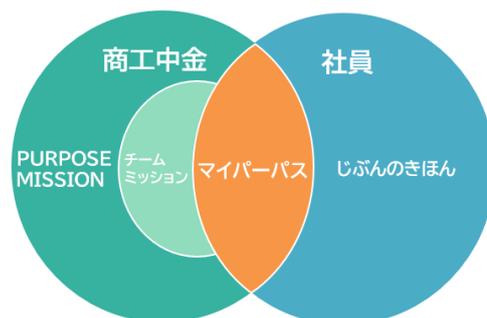
③ 組織風土の変革

- ・毎年パーパスワークショップを実施し、全役職員がマイパーパス(※5)を策定

④ 働き方改革

- ・「YOHAKU プロジェクト」(※6)

- ※1. 企業内大学「人づくりカレッジ」:従来の座学中心の研修から、ヒューマンスキルを重視した実践型研修へ転換。年間約120のプログラムを全て手挙げ制とし、社員の自立的な学びを促進しています。
- ※2. 役員メンター制度:課長、次長層の女性社員(メンティー)を対象に役員(メンター)が1on1形式の面談を実施。キャリア形成における相談だけでなく、月次でディスカッションテーマを設けることで、メンター・メンティー双方が互いの考えを学び、理解し合う場としても有効に活用されています。
- ※3. ネクストカレッジ:主にバックオフィスを担う女性社員が近い将来のリーダーとなるために、仕事やキャリアを振り返り、職場でより良い影響力を発揮できるようになることを目指しつつ、自己変革に取り組む研修。
- ※4. 営窓キャリアプログラム制度:本人の希望に基づき一定期間法人営業の業務に試行的に従事できる制度。バックオフィス業務からのキャリアの複線化、新たなキャリアパスへのチャレンジを支援しています。
- ※5. マイパーパス:商工中金では、PURPOSE とじぶんのきほん(人生で大切にしているもの、自分の心の中にある価値観、目的)の重なり合う部分をマイパーパスと定義しています。



- ※6. YOHAKU プロジェクト:残業時間の削減とともに、創出した「余白時間」を仕事と家庭の両立や外部交流などの自己研鑽に充当し、Well-beingの実現を目指す施策。(パーソルテンプスタッフ株式会社と連携)